

# 令和4年度京都府当初予算

## 1兆382億7200万円（前年度比100.3%）

国の補正予算を活用した3年度2月補正予算をあわせると1兆848億1400万円

令和4年度当初予算は、知事選挙を控え、政策的な新規事業を最小限にとどめた骨格的な予算ですが、現下の最重要課題である府民の命・暮らし・事業を守るコロナ対策のほか、医療・福祉、防災・減災をはじめとする府民の安心・安全対策、子育て・教育環境の充実など、年度当初から取り組まなければならない事業について、しっかりと必要な予算が計上され、国の補正予算も積極的に活用し、令和3年度2月補正予算と一体的に14か月として編成されました。

わたくしは、2月定例府議会において、予算案に盛り込まれた府政の諸課題とその対応について知事に代表質問を行うとともに、当初予算を審査する「当初予算審査小委員会」の委員として審査を行いました。今回の予算は、コロナ対策に万全を期すとともに、コロナ禍で様々な課題を抱える女性支援や離職者支援、こどもの貧困対策など、立場の弱い方々への支援や経営状況が悪化している中小企業の事業継続支援等が盛り込まれております。

### 令和4年度当初予算の体系（主な内容）

#### 1. 命・暮らし・事業を守るコロナ対策 2312億円規模（2月補正予算含む）

- (1) 命・健康を守るコロナ対策  
ワクチン接種体制の確保、医療提供体制の確保 など
- (2) 雇用・暮らしを守るコロナ対策  
離職者支援等の雇用対策、府民生活へのきめ細かなサポート など
- (3) 事業者支援・緊急経済コロナ対策  
中小事業者への事業継続や新事業展開等への支援 など

#### 2. 府民の安心・安全対策

- (1) 医療・福祉・生活の安心・安全対策  
看護・福祉施設職員の処遇改善、看護師確保、障害児支援 など
- (2) 防災・減災・国土強靱化による安心・安全  
危機管理センター整備、公共事業 など
- (3) 大雪被害対策  
大雪によるパイプハウス等の復旧支援、森林被害対策 など

#### 3. 子育て・教育環境の充実

- (1) 子育てにやさしい風土づくり  
WEラブ赤ちゃんプロジェクトの更なる浸透に向けた取組 など
- (2) 子育てにやさしい職場づくり  
企業における働きやすい職場づくりに対する支援 など
- (3) 子育てしやすいまちの実現  
子育てにやさしいまちづくりに取り組む市町村支援、不妊治療の保険適用に合わせた府独自の負担軽減制度を拡充、幼稚園や高校における教育負担の軽減 など

#### 4. 文化振興と魅力ある地域づくり

- 新行政棟・文化庁移転施設整備、文化芸術発信強化  
明治以来初めての中央省庁移転となる文化庁の本格的な移転に当たり、新行政棟・文化庁移転施設の整備を着実に進めるとともに、文化首都・京都を広く国内外に発信
- 「移住するなら京都」推進（移住・定住に至るまでの各段階に応じたきめ細かな支援を実施）
- 京ものブランド総合戦略事業（府内産農林水産物・加工品のブランド力・販売力を強化）

# SMILE

スマイル

## 府議会議員北岡ちはる活動報告

2022.3.15 通巻No.-45

【北岡ちはる事務所】

京都市左京区北白川山田町10-1

Tel 075-702-9400

Fax 075-723-6600

未だ新型コロナウイルス感染症が収束しない中、皆様には、日々の生活が制限される等、大変なご苦勞をおかけしていることと拝察いたします。これまでも、皆様への各種支援策のご紹介やご相談等の対応をさせて頂いておりますが、お困りごとやご提案等がございましたら、ぜひともご連絡ください。



府議会議員  
北岡 ちはる



【京都市新型コロナワクチン接種コールセンター】 ☎ 050-3310-0371

※ワクチン接種についてのお問い合わせ等 8:30～17:30

【京都府コロナワクチン副反応相談センター】 ☎ 075-414-5490

※副反応について看護師・薬剤師が対応。ワクチン接種予約は不可。24時間対応

【きょうと新型コロナ後遺症相談ダイヤル】 ☎ 075-414-5338

※コロナの後遺症について看護師が対応 24時間対応

【経済産業省 事業復活支援金】 申請期間：2022年1月31日～5月31日

給付対象は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小法人・個人事業者で2021年11月～2022年3月のいずれかの月（対象月）の売上高が、2018年11月～2021年3月の間の任意の同じ月（基準月）の売上高と比較して50%以上又は30%以上50%未満減少した事業者

▲給付額の上限 ⇒ 中小法人等は250万円 個人事業者等は50万円  
（基準期間の売上高－対象月の売上高×5ヶ月分）

▲相談窓口 ☎ 0120-789-140（8:30～19:00 土日祝日対応）



【無料労働相談窓口】

◎京都府労働相談所（労働者・使用者からのさまざまな労働相談について）

☎ 0120-786-604（京都府内限定）

◎連合京都「なんでも労働相談ダイヤル」（働くうえで困ったこと等の相談について）

☎ 0120-154-052（平日10:00～17:00）

【飲食店等への協力金お問い合わせ】「協力金コールセンター」

☎ 075-365-7780（9:30～17:30 日曜日・祝日を除く）

※新型コロナウイルス感染症の影響による様々な支援やお問い合わせにつきましては、[京都府のHP](#)をご参照頂くか、北岡ちはる事務所まで、お問い合わせ下さい。

## 1. 令和4年度当初予算案及び令和3年度2月補正予算に盛り込まれた府政の諸課題について (コロナ対策、人づくり対策)

①入院医療コントロールセンターや妊婦のPCR検査の公費負担、第三者認証制度等、これまでのコロナ対策事業の検証及び改善点は？

**答弁：**保健所の負担軽減と圏域を超えた効率的な調整を図るため、全国に先駆けて「入院コントロールセンター」を設置し、患者情報と病床情報を一元管理する体制を構築。感染急拡大時は、DMAT資格を有する医師を追加確保。入院調整のために設置した「入院待機ステーション」を臨時医療施設としても運用し、また中和抗体薬の投与を可能とした。今後も、必要な対応や見直しを躊躇なく講じる。

②ワクチンの3回目接種を進めるためには、国の責任において、1,2回目と異なるワクチン接種(交互接種)の不安払拭や重要性を丁寧に説明することが必要であるが府として、どう取り組むのか？

**答弁：**あらゆる広報媒体を通じて有効性や安全性についての丁寧な広報に努め、京都府会場において、2回目接種から6ヶ月を経過された、接種券をお持ちの方全員を、年齢を問わず申し込み可能とすることで、早期の接種を促進。

**「京都府ワクチン接種会場予約・相談コールセンター」**

☎ 0570 - 030 - 280 9時～19時(月曜日～土曜日)  
(※日曜日は9時～17時半)

③宿泊療養施設や自宅での療養者が急増する中、自宅で病態が悪化しても、必要な治療や投薬を受けられる体制の構築が必須。また、その内容を発信することが重要。自宅療養者等への医療提供や市町村と連携した支援にどう取り組むのか？

**答弁：**宿泊療養施設では、看護師が毎日健康観察を実施し、夜間常駐医師や看護師長の配置により、病状を把握。病状悪化時には、酸素・薬剤の投与や入院調整等の体制強化を図った。自宅療養者には、パルスオキシメーターや支援物資の送付、電話診療を実施。第6波では、府内全域で、訪問診療の実施体制や経口治療薬が院外処方により薬局から自宅に配送される体制整備等を強化。

**「新型コロナウイルス医療相談センター」**

☎ (075) 414 - 5487 ※24時間対応

<要望> 学校や保育所等の休校・休園が増え、子育て世帯の仕事・育児・教育面等に影響が出る中、特に、ひとり親や非正規雇用の家庭は、働くことができず、生活の困窮度合いが高まることを懸念。国の「小学校休業等対応助成金制度」の周知の他、様々な支援が速やかに⇒届くよう、困難な状況改善を図るべき。問合せ：☎ 0120-221-276



④新年度「子育て環境日本一」関連事業の展開とその事業成果の可視化は？

**答弁：**「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」の推進による子育てにあたたかい環境づくりを行うとともに、子ども・親子の交流の場づくり、時間単位の年休制度の導入等、子育てをしながら働きやすい職場の拡大など、オール京都で「子育て環境日本一」の京都の実現を目指す。

⑤「教育環境日本一」実現のため、非常時においても学びを止めない体制を整備する事業等、少子化対策における教育の重要性に対する考えは？「教育は国家百年の大計」であり、その重要性から、教育・研究費の増額を国に強く求めるべき。

**答弁：**私立高校あんしん修学支援事業費や未入園児保育支援事業の拡充、スマートスクール推進事業費等を計上。「教育は人づくり、未来への投資」であり、国や社会の発展に不可欠。少子化や格差といった国家的課題の解決や国際競争力を高めていくため、何よりも教育費拡充が重要。全国知事会等を通じ、教育予算措置の充実を強く要望。

⑥「京都未来塾事業」及び「高度人材育成プログラム」の事業を評価。「生涯現役クリエイティブセンター」の幅広いリカレント研修の成果と次年度事業計画は？

**答弁：**6ヶ月間で2,200人が参加し、再就職に繋がる等の着実な成果。今後は、ライフステージに合わせたスキルアップができる「全世代型」のセンターへと発展させる。

## 2. 困難な問題を抱える女性への支援と新たな法制度の整備が必要。貧困、虐待、ネグレクト、DV、性的搾取、育児ノイローゼなど、生きづらさを抱える少女や若い女性たちの居場所づくり、寄り添い支援に尽力するNPOや諸団体の取組みに対する支援や連携は？

**答弁：**今年度から、民間団体と連携し、より多くの方々が生近なところで相談できるよう、電話やオンラインでの相談窓口強化。今後も関係団体への支援と連携に努める。

## 3. 第25回国際博物館会議(ICOM)京都大会を契機としたミュージアムの未来と支援については？(各館への支援および府立植物園の整備)

「生きた植物の博物館」として、府立植物園の整備については、昨年度に北山エリア整備基本計画が定められ、具体的な検討が進められているが、2haのバックヤードを今後確保するとともに、必要な改修や作業がしやすくなるよう高機能化を図るとの方針に変更はないのか？既に公表の北山エリア整備のイメージ図は、バックヤード等について誤解を生むものとなっており、精査の上、改めて府民に示すべきでは？

**答弁：**府立植物園は、これまで継承してきた優れた育成栽培技術を土台として、広く府民に憩いの場を提供しており、その基盤となるバックヤードについては、これまでから植栽・展示や希少植物の育成のために大変重要な施設と説明している。植物園の整備により、バックヤードの拡充・高度化、栽培技術の向上と技術継承、希少植物の保全強化などの機能向上を目指し、自然豊かな府民に憩いの場としての魅力向上が図られるように検討を進める。

## 4. 府立高校の「総合的な探究の時間」について

府立北稜高等学校では、鞍馬寺の風倒木を教育のために活用し、鞍馬寺を中心とした地域の課題解決と元気をもたらす取組み等を進めているが、府立高校の「総合的な探究の時間」における地域との連携やコミュニティスクールとしての地域に根差した教育活動の意義は？

**答弁：**北稜高校をはじめ、SDGsの目標も踏まえた課題設定等、実社会と自己との関わりから問いを見出し、主体的・協同的に取り組み、その成果をまとめて表現する教育活動が各校で進められている。コミュニティスクールの仕組みも活用しつつ、地域にその成果を提言するなど、地域とともにある学校づくりの推進に努める。

